

## 日本あちこち河川遡行記（第287回）

奈良1-7. 飛鳥川（その1） 令和1年9月13日（金）小雨のち曇り

今日も近鉄大和八木駅に降り立つ。難波から奈良線の電車に乗り鶴橋で大阪線の電車に乗り換えるためホームで待っていると高安行き各停が入線。そのうちの4両の3扉の旧急行用電車の塗色が何と60年以上前の特急の塗色になっている。レモン色に濃紺の塗り分けで子供の頃に鶴橋のホームで見た強烈な印象を受けた色の組み合わせである。当時は上本町発宇治山田行き「すずか号」と号していたはずだ。国鉄は特急も蒸気機関車牽引で、長距離を電車で走る近鉄は憧れの電車であった。

大阪駅を9時に出発する汽笛を小学校の教室で聴き、暫しするとC62牽引の燕が煙を高く上げて走る様子を授業はそこのけで見ていた。6年生の秋に米原～大阪間が電化され、記念の沿線児童招待に学校代表で彦根往復に参加し、モハ80系（湘南電車）に乗ったのを鮮明に覚えている。



01.今回調査区間位置図

02.昭和30年頃の特急電車の塗色が復活

次の急行まで15分以上の待ちでやがて先日乗った名阪特急がやって来るので急遽ホームの特急券売り場で特急券を買う。すぐにアーバンライナーがやって来て乗車。奈良県に入ると巡回してきた車掌と後方の座席の中国のカップルとが話をしている。車掌は日本語一点張りでお互いの言葉が通じないような所に女性が通りかかり英語で話しかけている。どうやら奈良に行くのにこの名古屋行き特急に乗ってしまったようだ。次の八木で乗り換えるよう話している。車掌は全く英語がダメなようで、天下の近鉄特急の車掌が車内で必要な最低限の英会話が出来ないようでは困ったものだ。次の八木で乗り換える時にまた間違えて橿原神宮行きに乗るか、京都まで乗ってしまうかも知れないので、急遽手持ちのメモに関係地区の近鉄路線図を書き乗り間違えないように注意して二人に渡す。当方も八木で下車するので二人を橿原線の西大寺方面の乗り場に誘

導して改札口に向かう。橿原線のホームには京都行き特急が入り、またまた間違えて京都まで行くのではと危惧する。「毎度近鉄特急を誤利用有難うございます」。

先日見つけたレンタサイクルを借りるべく駅前の案内所に向かい手続きをして電動アシスト自転車をゲット。1日千円は少し高いが仕方がない。今日は雨模様で歩くか自転車にするか迷ったが、岡山からここまでの空模様から小雨のち曇りと判断して自転車と決める。



03.今日はレンタサイクルで八木駅からスタート

小雨がポツポツと降るので地図は濡れるとダメになるので予め見ておいた記憶を頼りに出発する。今日の気温は何と 26 度！半袖で雨がぱらついているので寒いぐらいである。途中川と近鉄の短絡線を越える県道 105 号の側道を西に向かうと踏切が無く行き止まりである。仕方なくバックして本線の車道の急勾配の道を登る。電動アシストで良かった！1時間ほどかけて最下流の最初の橋に到着する。電動なので快調に走って来た。すぐに折り返し「大和中央自転車道」の土手道を上流に向かう。



04.小雨の中 10km 走り最初の橋に



05.大和中央自転車道を南に

12時過ぎになるとほぼ雨は落ちてこなくなる。川西町から三宅町に入る。土手道を行くと写真を撮りたくなるような名所・旧跡に出会うことが少なく変化の無い遡行になる。近鉄田原本線の踏切を越え、「船つき橋」を見て南に漕ぎ出すと大きな案内板が有るぞ。橋名の通りここは大和川を溯って来た舟に積まれた物資が、途中の「亀の背」で小型舟に積み替えられここまでやって来た舟つき場なのだ。発地「但馬」、着地「但馬」も有ったかも知れない。



#### 06.大和の「但馬」まで舟が遡上していた

電池の電気の消費量が半分を超えるとアシスト力が弱くなってきた。田原本町に入りどんどん南に東に進み「農振橋」を過ぎると土手に次回の川清掃の日程が示されている。定期的にやっているようで月日、時刻がカード挿入式になっている。本格的にやっているのが分かる。有難うさん！



#### 07.住民みんなで川を清掃

近鉄大阪線の下を潜り橿原市の市街地に入る。道には名所・旧跡の案内板が増えている。JR桜井線の橋を見て今日はここまでとして八木駅に向かう。次の橋は先日見た今井町入り口に架かる橋である。



08. 橿原市街に入ると案内板も賑やかに

市役所前の東西の道の北側に今日一の史跡に出会う。難波から大和に向かう「竹内街道」の橿原付近の道は「横大路」と言われ、その解説と石碑が有る。古代から東西の方向を横と言っていたんだ。



09. 市役所前には横大路の解説が



10. 横大路はかつての国道

八木駅前の観光案内所に着き自転車を返す。橿原市内には多くの史跡、名所が有り、それらをコミバスで巡るポスターも有る。案内所の有る広い部屋には奈良交通の案内所、物産販売コーナーもあり、暫し物産を見て回りお土産に幾つかの物をお買い上げ。



11.川を離れてこれで史跡を訪れるかな

上本町行き急行に乗ると車内中吊り広告にいけばな展の広告が架かっている。こういう中吊りは何時も入れて置いてほしいなー。

難波で時間調整をして大阪メトロで新大阪に向かう。ホームから降りて来ると見慣れたトイレが有り、入り口の「日本トイレ大賞」を受賞した証が注意を惹く。中に入るとこれが駅、特に地下鉄の駅トイレとは思えないほど綺麗で立派なトイレである。デパートから始まり高速道路のSA、PAのトイレが立派になり、今は駅のトイレがリニューアルの真っ最中である。海外からのお客さんがびっくり、感心していることだろう。



12.車内中吊り広告の白眉だ



13.大阪メトロ新大阪駅のトイレは綺麗でっせ！

本日の歩行（輪行）距離：23.4km。調査した橋の数：39。

総歩行距離：10,564.6km。総調査橋数：13,590。

使用した1/25,000地形図：「大和郡山」（和歌山1号-3）、「桜井」（和歌山1号-4）